

どんぐり通信

発行者 飯塚市庄内生活体験学校
(指定管理者：NPOどんぐり)



生活塾

令和5年度の生活塾は、年間23回実施しました。特に秋のサツマイモ収穫は好評で、植付から手入れまでを一所懸命していただいた職員に感謝をしながら、たくさん収穫をしました。ただ野菜を収穫するだけではなく、感謝の気持ちを持つことを学びました。
今回は、参加者や保護者の感想を掲載します。



参加児童の感想

おかず係でマカロニサラダを作りました。ソーセージを切ったりお皿に盛りつけたりしました。タマネギを抜いたり、水やりをしたり楽しいことをしました。
(2年女子)



サツマイモを掘ったときはムカデやミミズがいたけど、頑張ったらサツマイモがいっぱい取れました。おかず係で台を拭いたり、おにぎりを作ったりして楽しかったです。
(3年男子)

緑色のトマトは取らないことがわかりました。火は上に燃えていくことがわかりました。サツマイモはツルをかえさないと大きくならないし、虫から守ることがわかりました。
(3年女子)



今日、防災について知ってよかったです。大人になっても覚えておきたいです。ヤギにブラシをしてあげてよかったです。うさぎの小屋を掃除したのが楽しかったです。
(2年女子)

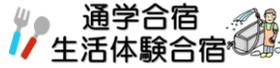


保護者の感想



- 生活塾に参加して以降、家でも自分からよくお手伝いをしてくれるようになりました。毎回いろいろな体験や経験をさせて頂くことができ、子どももとても楽しく満足しています。
- 普段できないことを体験させていただき嬉しく思います。私自身、小学生の頃、そちらに何度もお世話になりました。親子共々同じ経験ができ、感慨深く思います。
- ドキドキすると迎えた当日でしたが、とっても楽しかったと表情も変わり、心も成長したように思います。様々な自然や人と出会って関わることができて感謝です。
- 平日はこちらもさせてあげる余裕がなく、土日頑張りました。

通学合宿 生活体験合宿



令和5年度の生活体験合宿は、テント泊が8回、宿舍泊が3回でした。また、通学合宿は、3回実施し、通学合宿2班では、青山学院大学の学生8名が実習にきました。新型コロナが5類に引き下げられ、通常の合宿事業ができるようになりました。

1週間の通学合宿でこんなに子ども達が成長する姿を見て驚きました。自分たちが小学生の頃と比べても雲泥の差だと思います。ここまで成長する過程には、生活体験学校の先生方の並々ならぬ努力と子ども達に向き合う姿があるのではと思います。4日間ありがとうございました。

大学生の感想



参加児童の感想



不安や緊張があったけど、来てみるとすごく楽しかったです。大学生とも仲良くなれたけど、今日でお別れなのは寂しいです。でもまたいつか会えると信じています。

テントを組み立てるのも片付けるのも大変だったけど、テントで寝るのは気持ちよかったです。

木を切る時、少し指が痛かったけど、一生懸命頑張りました。特に難しかったのは、大きなお風呂をゴシゴシするのが大変でした。



キュービーみらいまご財団 食育キッズ講座

令和5年度食育キッズ講座も残り1回になりました。2月24日(土)は、食育体験として「味噌作り」を行いました。茹でた大豆をみんで潰して、米麴を塩切りしたものと混ぜ、タッパーに空気が入らないように入れました。最後に自分の名前とメッセージを書いて、熟成の仕方を学びました。



ほっとNEWS



令和6(2024)2月11日、生活塾20班が催され、2年生・3年生合わせて14名が参加しました。参加者の学校別は、穎田小学校、穂波東小学校の2校でした。前回のホットニュース「玉切り」で書きました25本のホダギのうちの10本のホダギを使いました。コマ打ちは、ホダギにドリルで孔をあけてシイタケ菌の詰まった丸みがかった木片を打ち込みます。ホダギには4列の孔をあけますので、かなりの数のコマを打ちます。打ち込みには木槌を使います。力の入れ具合によって、コマは深く入ったり浅く入ったりします。浅く入ったままだとシイタケ菌の広がりを狭くしてしまう恐れがあります。力の入れ方の加減を習得する体験活動です。



【問い合わせ先】

飯塚市庄内生活体験学校 (指定管理者：NPOどんぐり)
〒820-0111 福岡県飯塚市有安958-1
TEL：0948-82-3188 FAX：0948-82-2780
mail：taiken.sch@oks.or.jp

HPはこちら▶

